

3-2 トキ交流会館でのトキ野生復帰プロジェクトの講話

トキの野生復帰を題材に、このあとの自然体験への動機付けを行います。

トキ、佐渡、人の暮らし、自然などのつながり、関心についての講話と準備です。

トキの野生復帰は、佐渡においてトキが暮らせる環境を保全再生するだけではありません。トキは人の暮らしに身近な自然環境に生きる鳥です。田んぼや水路、草原など人間が手入れをして農業などに利用している場所でエサを取り、エサ場に近い場所をねぐらにします。試験放鳥したトキの中には、農家の裏の木やアンテナなどをねぐらや止まり木にしていることが確認されています。

トキを野生復帰は、人とトキと一緒に暮らせる地域づくりです。農薬を減らし、冬にも水を張ったり、生きものが行き来できるような水路をつくるなど、農業では生産するだけでなく生きもののことを考えた方法にします。手間はかかりますが、手間よりも大切なものがあるからです。暮らしでも、ごみをむやみに増やしたり、カラスが増えるようなごみの出し方を変えて、自然のバランスを保つようにします。人がトキを受け入れ、トキがいても困らない、むしろトキやいろんな生きものと一緒に暮らしている方が心豊かになるといった価値観を育むことが大切です。

講話の講師は、実際に長年トキに関わっている元・佐渡トキ保護センター長の近辻宏典さん、親子2代でトキを守り、山や里の暮らしの達人でもあるトキの野生復帰連絡協議会・会長の高野毅さんをはじめとした「トキ博士」にお願いします。

■トキ交流会館

トキのボランティア活動や学習活動のセンターで、宿泊もできます。トキガイドによる見学ツアー（有償）、体験学習の指導やボランティア活動団体の紹介、ホールや会議室でのイベント等が行われています。

修学旅行や体験活動の記録や子どもたちの感想などが展示されています。また、毎日のトキモニタリング（環境省）の拠点としてモニタリングボランティアチームなどが情報交換をしています。

佐渡市新穂潟上1101-1

電話0259-24-6040

メール：info@toki-house.jp

詳細は、佐渡トキファンクラブHPをご覧ください

<http://toki-sado.jp/fanclub/>

所要時間 1時間

佐渡トキファンクラブ トキ交流会館

トキ交流会館は、トキの野生復帰活動を支援する佐渡市の施設です。宿泊、会議の場、トキガイド、修学旅行や入浴調整、ボランティアの調整や、活動機材の管理などを行っています。佐渡トキファンクラブは、いつでもメールアドレスの登録だけで入会できるトキの応援団です。佐渡市が運営するトキの野生復帰連絡協議会が協力しています。トキの最新情報を発信しているほか、ボランティアの参加募集、佐渡の様々なイベントの案内をしています。佐渡の特産物のプレゼントなどもあります。

佐渡トキファンクラブ
〒958-8501 佐渡市新穂潟上1-1-1
TEL: 0259-246040
E-MAIL: info@toki-house.jp

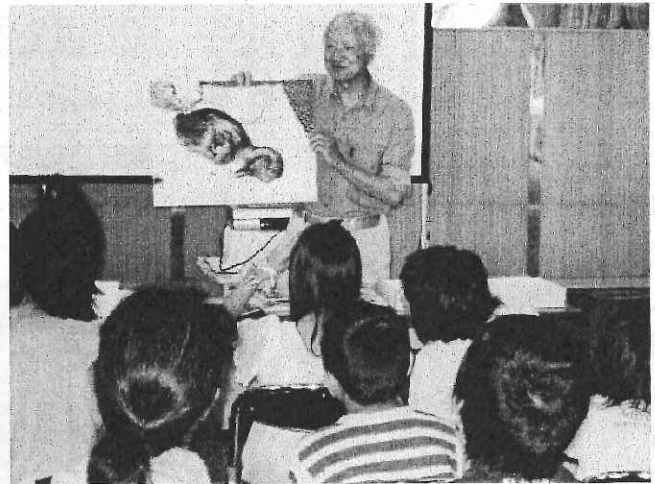
トキは
こんな
数です
トキを
野生に
戻そう
トキと
暮らそう
暮らし
豊かに

トキの野生復帰連絡協議会

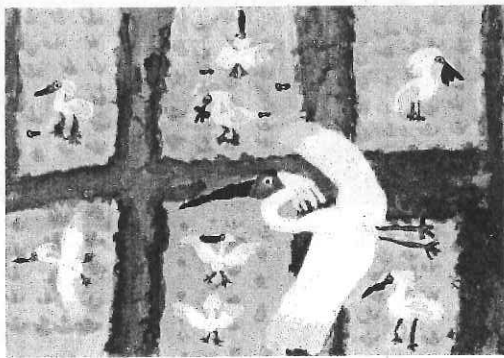
■ねらい

この後の自然体験で「五感で感じる」ためには、前提として自分たちが体験する行為はすべて「トキのために役立っている」という認識を持ち、それを体験への動機にすることが大切です。実際の自然体験がはじまれば、子どもたちはそれぞれの体験に対して「楽しく」感じるようになりますが、動機がなければ、体験そのものを「恐れる」可能性があります。知らない場所、知らない空間で、知らない自然の中で、触ったこともない道具を使ったり、感じたことのない五感（泥の感触、たい肥の匂いなど）を得ることは体験が負の記憶となる場合もあるからです。そこで、佐渡における自然体験はすべて「トキのために役立っている」という導入のための動機付けは重要です。それにより、未知への「恐れ」を解消し、五感を発揮できる精神状況を生み出します。

トキ交流会館での「トキ学習」は、講話とビオトープづくり体験や生きもの調べなどの自然体験を組み合わせ、修学旅行などの1プログラムとして経験を積んできました。この「トキ学習」はあくまでも「学習」の一環であり、「自然体験」がテーマではありませんが、実質的には、講話と体験をセットすることで、印象深く心に残り、かつ負の記憶にならない自然体験となっています。



トキのしおり



知ってほしい、学んでほしい、
トキのこと、トキの島・佐渡のこと。

みんなのちからで、
トキがもういちど空を飛べるようにしてください。

佐渡トキ交流会館・トキの野生復帰連絡協議会・佐渡トキファンクラブ